

# 令和元年倉敷市スポーツ章受章者(スポーツ振興功労者)

(規則第3条第2項第1号に該当)

(氏名については敬称略)

| No. | 氏名                | 推薦団体                             | 主な功績   |
|-----|-------------------|----------------------------------|--|
| 1   | たかやま のりこ<br>高山 憲子 | 公益財団法人<br>倉敷市スポーツ振興協会<br>卓球部     | 平成12年度より(公財)倉敷市スポーツ振興協会卓球部の副部長として部長を支え、女性ならではの細かい気配りによって、大会運営はもとより専門部の取りまとめに尽力された。<br>また、令和元年度で132回を数える「倉敷レディース卓球大会」の運営にも携わり、女性スポーツの活性化にも貢献された功績は誠に顕著であり、市内の卓球競技の普及と振興に寄与されたことは他の模範となるものである。                                       |
| 2   | はしもと けん<br>橋本 憲   | 公益財団法人<br>倉敷市スポーツ振興協会<br>スキー部    | 平成元年から(一財)倉敷市体育協会(現(公財)倉敷市スポーツ振興協会)スキー部の役員として市内のスキー競技の普及と振興に尽力された。<br>平成4年から岡山県スキー連盟の理事や評議員等の役員を歴任、平成5年2月16日から19日に鳥取県大山町で開催された第48回国民体育大会の際に、公認旗門審判員の資格を取得、以後スキー競技の関門員として活躍された。<br>今年度からは(公財)倉敷市スポーツ振興協会スキー部顧問に就任され、その功績には顕著なものがある。 |
| 3   | ふくえ としあき<br>福江 敏秋 | 公益財団法人<br>倉敷市スポーツ振興協会<br>ソフトボール部 | 平成6年に公認審判員第3種資格を取得しソフトボール審判員となり、水島地区において各種大会の運営に携わっている。平成10年には公認審判員第2種資格を取得し、岡山県ソフトボール協会主催の大会においても審判員として活動している。<br>現在は(公財)倉敷市スポーツ振興協会ソフトボール部副部長として大会の企画運営に尽力され、他からの信望も厚く、ソフトボール競技の普及と振興に大きく貢献されている。                                |
| 4   | しらが さぶろう<br>白神 三郎 | 公益財団法人<br>倉敷市スポーツ振興協会<br>少林寺拳法部  | 自ら倉敷道院拳友会代表として、40年以上の長きに亘り市内の少林寺拳法競技を牽引され、多くの子道院を門下生に開かせている。<br>平成27年に岡山県少林寺拳法連盟の理事長に就任し、現在3期目を務められ、その間多くの拳士が少林寺拳法の全国大会、国際大会で優秀な成績を収めており、市内の少林寺拳法競技の普及・発展及び指導者育成に貢献された功績は大きい。  |